

# 第70期 報 告 書

ANNUAL REPORT

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

- 1P 株主の皆様へ
- 3P 財務の概況
- 5P 会社情報  
株式の状況
- 6P 進化し続けるOUGグループ 株式会社うおいち  
食育活動を通じて魚食文化の普及に努めています。
- 7P OUGグループの小売事業会社「黒門三平」の  
カタログ販売〔うまいもん便〕夏号のご紹介！  
夏のおくりもの
- 8P Information  
株主優待制度





代表取締役社長

谷川 正俊

平素は格別のご高配を賜り厚く  
お礼申し上げます。

さて、当社第70期（平成27年4月  
1日から平成28年3月31日まで）の  
事業および財務の概況のご報告を  
申し上げます。

平成28年6月

## 事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気の回復にはもたつきがみられますが、企業業績の回復、雇用・所得環境、設備投資などの改善がみられ、個人消費の回復は鈍いものの、緩やかな回復基調にありました。消費者心理は雇用環境の改善などを背景として堅調ですが、日用品を中心に節約志向が依然として続き、消費者の購買行動は多様化してきております。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物は円安および国際競争の激化などにより、調達コストが上昇し、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当連結会計年度の売上高は3,272億73百万円（前年同期比100.9%）となりました。損益面では、売上総利益は232億28百万円（前年同期比105.6%）となり、営業利益19億75百万円（前年同期比169.4%）、経常利益19億23百万円（前年同期比149.7%）、親会社株主に帰属する当期純利益11億10百万円（前年同期比111.0%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

### <水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、販売単価は上昇したものの取扱数量の減少などにより売上高2,045億98百万円（前年同期比99.6%）となりましたが、売上総利益率の上昇および間接経費全般の節減によりセグメント利益15億95百万円（前年同期比156.8%）となりました。

#### <市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、販売数量の増加、販売単価の上昇などにより売上高1,205億円(前年同期比103.8%)、仕入コストの上昇および販売費の増加などによりセグメント損失45百万円(前年同期はセグメント損失4億29百万円)となりました。

#### <養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、販売単価は低下したものの販売数量の増加により売上高84億53百万円(前年同期比101.8%)、餌料価格の高騰等による生産コストの上昇などによりセグメント利益2億36百万円(前年同期比37.1%)となりました。

#### <食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、米飯加工の販売数量が増加し好調に推移したことにより売上高48億70百万円(前年同期比106.4%)となりましたが、人件費や資材価格等の生産コストの上昇などによりセグメント損失90百万円(前年同期はセグメント損失1億40百万円)となりました。

#### <物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、取扱い数量の増加、当期より連結子会社が1社増加したことにより売上高20億96百万円(前年同期比114.8%)、セグ

メント損失34百万円(前年同期はセグメント損失95百万円)となりました。

#### <その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、当期より連結子会社が1社増加したことなどにより売上高56億90百万円(前年同期比116.1%)、セグメント利益1億22百万円(前年同期比282.8%)となりました。

### 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、国内景気はもたつきがみられるものの、緩やかな回復基調にあると予想されますが、海外経済や外国為替相場の動向など先行き不透明な状況にあります。

また、水産物流通業界におきましては、海外調達競争や国内販売競争が激化するなか、消費者の日常消費に対する節約志向は継続し、加えて購買行動は多様化するなど厳しい経営環境下にあると予測されます。

当社グループは、コア事業である「水産物荷受事業」および「市場外水産物卸売事業」、また、コア事業を支える「養殖事業」の事業基盤の強化を図るとともに、グループ内の加工機能、物流機能を最大限活用し、グループ総合力の発揮により顧客が求める価値を提供してまいります。また、グループ経営基盤の強化を図り業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 財務の概況

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		[平成28年3月31日現在]	[平成27年3月31日現在]
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>			
現金及び預金		2,607	2,054
受取手形及び売掛金		26,385	27,993
商品及び製品		18,904	19,652
仕掛品		0	0
原材料及び貯蔵品		327	404
繰延税金資産		396	331
その他		733	687
貸倒引当金		△ 176	△ 298
<b>固定資産</b>			
<b>有形固定資産</b>			
建物及び構築物		2,742	2,816
機械装置及び運搬具		1,035	990
工具、器具及び備品		322	347
土地		6,680	6,778
リース資産		350	474
建設仮勘定		—	19
<b>無形固定資産</b>			
ソフトウェア仮勘定		3,260	3,625
その他		351	324
<b>投資その他の資産</b>			
投資有価証券		5,920	6,241
関係会社株式		16	76
長期貸付金		55	61
退職給付に係る資産		27	—
破産更生債権等		609	486
繰延税金資産		317	268
その他		679	674
貸倒引当金		△ 640	△ 525
<b>資産合計</b>			
		<b>70,907</b>	<b>73,486</b>

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		[平成28年3月31日現在]	[平成27年3月31日現在]
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>			
支払手形及び買掛金		18,171	18,860
電子記録債務		—	18
短期借入金		16,750	18,710
1年内返済予定の長期借入金		4,856	1,662
リース債務		574	498
未払法人税等		1,171	561
未払消費税等		412	341
賞与引当金		668	647
その他		3,013	2,981
<b>固定負債</b>			
<b>負債合計</b>			
		<b>7,065</b>	<b>10,840</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>			
資本金		6,495	6,495
資本剰余金		6,090	6,090
利益剰余金		5,281	4,489
自己株式		△ 120	△ 151
<b>その他の包括利益累計額</b>			
その他有価証券評価差額金		1,365	1,418
繰延ヘッジ損益		△ 26	10
土地再評価差額金		△ 357	△ 372
退職給付に係る調整累計額		△ 504	383
<b>純資産合計</b>			
		<b>18,224</b>	<b>18,364</b>
<b>負債純資産合計</b>			
		<b>70,907</b>	<b>73,486</b>

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 財務の概況

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		〔自平成27年4月1日 至平成28年3月31日〕	〔自平成26年4月1日 至平成27年3月31日〕
売上高		327,273	324,463
売上原価		304,045	302,473
売上総利益		<b>23,228</b>	<b>21,990</b>
販売費及び一般管理費		21,252	20,823
営業利益		<b>1,975</b>	<b>1,166</b>
営業外収益		<b>628</b>	<b>446</b>
受取利息		1	3
受取配当金		125	124
補助金収入		242	63
その他		259	255
営業外費用		<b>680</b>	<b>328</b>
支払利息		278	292
無形固定資産償却費		362	—
その他		40	36
経常利益		<b>1,923</b>	<b>1,284</b>
特別利益		<b>308</b>	<b>26</b>
投資有価証券売却益		308	26
特別損失		<b>116</b>	<b>137</b>
減損損失		97	106
投資有価証券評価損		19	—
事務所移転費用		—	22
固定資産売却損		—	9
税金等調整前当期純利益		<b>2,114</b>	<b>1,173</b>
法人税、住民税及び事業税		1,187	588
過年度法人税等		233	—
法人税等調整額		△416	△415
法人税等合計		<b>1,004</b>	<b>173</b>
当期純利益		1,110	999
親会社株主に帰属する当期純利益		<b>1,110</b>	<b>999</b>

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

当期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成27年4月1日残高	6,495	6,090	4,489	△151	16,923
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△333		△333
親会社株主に帰属する当期純利益			1,110		1,110
連結範囲の変動			15		15
自己株式の取得				△3	△3
自己株式の処分				34	34
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	792	31	824
平成28年3月31日残高	6,495	6,090	5,281	△120	17,747

	その他の包括利益累計額					純資産計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
平成27年4月1日残高	1,418	10	△372	383	1,441	18,364
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当						△333
親会社株主に帰属する当期純利益						1,110
連結範囲の変動						15
自己株式の取得						△3
自己株式の処分						34
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△53	△37	15	△888	△964	△964
連結会計年度中の変動額合計	△53	△37	15	△888	△964	△140
平成28年3月31日残高	1,365	△26	△357	△504	476	18,224

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		〔自平成27年4月1日 至平成28年3月31日〕	〔自平成26年4月1日 至平成27年3月31日〕
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		3,815	△71
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		△270	△706
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		△3,093	858
IV. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		452	80
V. 現金及び現金同等物の期首残高		2,049	1,966
VI. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		100	2
VII. 現金及び現金同等物の期末残高		2,602	2,049

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 会社情報 (平成28年3月31日現在)

## OUGホールディングス株式会社

### 会社概要

**主要な事業内容** 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を所有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

**設立** 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月1日)  
**資本金** 6,495百万円  
**発行済株式総数** 55,622,921株  
**従業員数** 連結 1,298名 単独 34名

### 役員体制

取締役	代表取締役社長	谷川正俊
	取締役	増田安利
	取締役	三輪光幸
	取締役	勝田昇夫
	取締役	角田晴夫
監査役	常勤監査役	三浦正晴 (社外取締役)
	監査役	玉田耕也 (社外監査役)
	監査役	富田英孝 (社外監査役)
	監査役	和田徹 (社外監査役)
執行役員	常務執行役員	伊藤博通 (社外監査役)
	執行役員	中江一夫 岡田雅之

# 株式の状況 (平成28年3月31日現在)

## 株式の状況

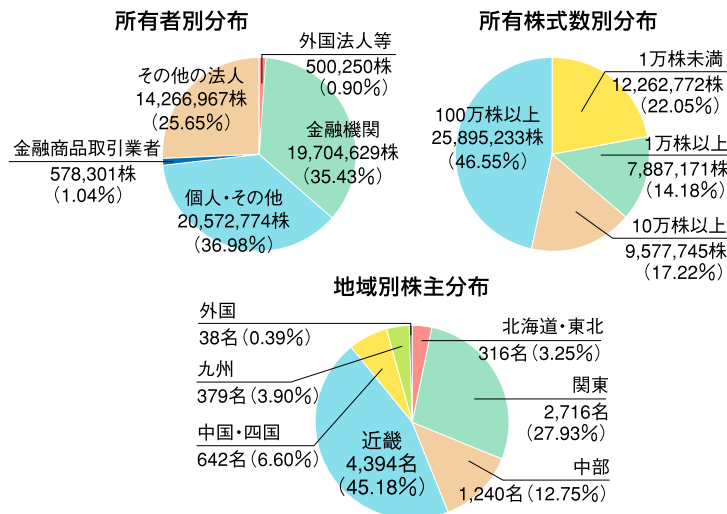
発行可能株式総数	209,159,000株
発行済株式の総数	55,622,921株
株主数	9,725名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
マルハニチロ株式会社	7,450	13.41
日本生命保険相互会社	2,650	4.77
農林中央金庫	2,636	4.75
株式会社みずほ銀行	2,000	3.60
株式会社りそな銀行	1,842	3.32
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,519	2.74
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,308	2.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社 大丸松坂屋百貨店退職給付信託口)	1,150	2.07
丸大食品株式会社	1,150	2.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,098	1.98

(注) 持株比率は、自己株式(81,921株)を控除して計算しております。  
 なお、従業員持株ESOP信託として保有する当社株式(559,000株)は当該自己株式には含めておりません。

## 株式分布





お魚博士

## ■食育活動を通じて魚食文化の普及に努めています。

OUGグループの中核企業として大阪、和歌山、滋賀の中央卸売市場等において水産物荷受事業を営む、株式会社うおいちは、平成18年から同社独自の食育推進理論である「知る」「捌く」「始末」の3S理論を基本に、「うおいち」ならではの食育活動を実践し、魚食文化の普及に努めてまいりました。

現在も、ライブ型お魚食育(漁港で子どもたちと漁業関係者との交流を図る)、出前型お魚食育(保育所などで子どもたちが魚との触れあいを楽しむ)、キッチン型お魚食育(魚料理のノウハウを調理しながら学ぶ)と様々な方法で食育活動を行っております。

また、同社のホームページにお魚図鑑やレシピを掲載するなど、これまでの活動と合わせて総合的に食育を推進する取り組みも行っております。

同社は今後もこれらの食育活動を通じて魚食文化の発展に貢献してまいります。



2015年8月

大阪府泉南市の岡田浦漁港にて、大阪府下の児童福祉施設の子どもたちと「地引網体験」とヒラメ稚魚の放流を行いました。今回で7回目の食育イベントです。



2015年9月

大阪市立小田町保育所でタコ、サワラ等のお魚との触れ合いを通じて食育活動を行いました。見学の保護者の方々にも、イワシの手開きを実演し体験していただきました。



2016年3月

社会福祉法人聖天奉仕会の保育所「第二和光園」で紙芝居、お魚クイズなどで食育活動を行いました。



2015年10月



「2015東浅香山校区 ふれあい親子フェスティバル」で“おいしい一夜干しを作ろう”と題して開き物教室を開催しました。



摂南大学にて、今回で5回目となる「イワシと徳島県の特産品を使った料理教室」を開催しました。

2016年2月

OUGグループの小売事業会社「黒門三平」のカタログ販売〔うまいもん便〕夏号のご紹介！

# 夏の おくりもの

# 黒門三平



うなぎ蒲焼き



うなぎ白焼き

うなぎ

黒門三平は、大阪日本橋の黒門市場で店を構え、鮮魚や水産加工品全般を扱っております。黒門三平が、季節を通じて行っているカタログ販売「うまいもん便」は、選りすぐった本物の味をご賞味いただけます。贈答品やご家庭で、ぜひご利用ください。

あじ



煮穴子

# 鯉



活〆鯉湯引き

詳しくはインターネットをご覧ください。  
ネットショップ <http://kuromon-sanpei.shop-pro.jp/>  
カタログ販売(うまいもん便 Summer Gift)

株式会社 黒門三平  
〒542-0073 大阪市中央区日本橋1-22-25

ご注文お問い合わせの際は、下記窓口までご連絡ください。

お問い合わせ  
電話番号 0120-396-358

携帯・PHS・IP電話の方は 06-6635-1938

★営業時間 午前9時～午後5時(日曜・祭日を除く)



## ◆ Information ◆

当社は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ることを目的として、株主優待制度を実施しております。

### 株主優待制度

#### (1) 対象株主様

毎年9月末日現在の株主名簿に記載または記録された、1単元(1,000株)以上の株式を保有していただいている株主様を対象といたします。

#### (2) 優待の内容

- 1,000株以上5,000株未満ご所有の株主様へ3,500円相当の水産加工品を贈呈
- 5,000株以上ご所有の株主様へ7,000円相当の水産加工品を贈呈  
数種類の品目よりお選びいただけます。

#### (3) 贈呈時期

毎年、12月上旬を予定しております。

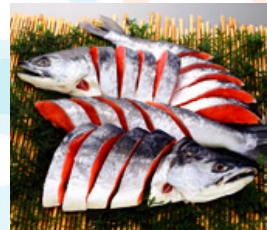
### 昨年、ご好評いただいた優待の人気商品!!



干物詰合せセット  
(3,500円 相当)



辛子明太子  
(3,500円 相当)



塩紅鮭姿切  
(7,000円 相当)



ずわいがに  
(7,000円 相当)

### 単元未満株式の買取請求について

#### (1) 買取請求について

単元株(当社の場合 1単元:1,000株)に満たない株式を、発行会社に対して市場価格にてその株式を買取よう請求することができます。

#### (2) 買取請求の手続きについて

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、ご所有の単元未満株式が特別口座に記録されている場合は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。(株主メモをご参照ください。)

# 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
ご連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
  - 特別口座に記載された株式に関する各種手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行（特別口座管理機関）の以下のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
    - ・東京 TEL 0120-244-479 (通話料無料)
    - ・大阪 TEL 0120-684-479 (通話料無料)
- <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード 8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス <a href="http://www.oug.co.jp">http://www.oug.co.jp</a>

## 免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

## Web Information

**IR情報**

株主優待を画像等で紹介しております。

<http://www.oug.co.jp>

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表のページ、動画によるグループ各社の紹介、優待の商品を掲載した株主優待のページなど様々な情報を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

## TOP PAGE

本商標をコアとし、お客様に価値ある商品とサービスを提供することにより、良文化の発展に貢献します。

## COMPANY PROFILE

グループ会社について 動画等で紹介しております。

## GROUP について

グループ会社について 動画等で紹介しております。

# OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号  
うおいちニッセイビル5階  
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145  
URL <http://www.oug.co.jp>